

Vol.
55

朝倉川通信



特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1 豊橋商工会議所内
Tel 0532-53-7211 URL <http://www.asakuragawa.net>
Fax 0532-53-7210 E-mail hotaru@asakuragawa.net

本年もよろしくお願ひ致します

あけましておめでとうございます。昨年は朝倉川育水フォーラム主要な事業の1つでもある多米の滝ノ谷園地内にあるピオトープに大きな変化がありました。

このピオトープは、平成11年に故加藤茂二氏から無償で土地をお借り出来た事からスタートしましたが、当会の理事でもあるご家族のご理解により、約750㎡のエリアの拡張工事をさせて頂きました。このエリアは、もともと豚舎やし尿の浄化設備があった事もあり、地中の水路や溜升、水槽など色々な施設がありました。その従来の水に関する施設を活かしながら、今までよりより多くの方々が、この自然豊かな場所に気軽に来頂けるようなプランニングをこれから進めていきたいと思っています。

まず、第一弾としては豊橋東ライオンズクラブ様の協力もあり既存の水槽の水を利用した手洗い場を作る事が出来ました。飲んだ入り煮炊きすることはできませんが、子どもたちが田んぼの手入れの作業をした時など、いろいろな場面で活用できると思います。

これからも、もっと自然を楽しめる場所にしていきたいと思しますので、皆様も是非ピオトープに足をお運びください！！



第10回

植樹メンテナンス大会開催

2年連続、雨天順延の日曜日開催となったものの16団体、253名と多くの参加者のもと、第10回朝倉川植樹メンテナンス大会が開催されました。参加された皆様、本当にありがとうございました。

昨年の第9回大会より慣れない分、苦労しながらも楽しみながら行った落葉樹・常緑樹の名札付けをお休みにしてメンテナンスそのものを少し掘り下げて大会を実施したことで今までの大会より道具を使うことにも慣れ、ごみ拾いだけではカバー出来なかった箇所メンテナンスも行ったことで、多くの遊歩道や側道から道側に張り出した枝やツルをメンテナンスすることが出来ました。

また、開催の詳細案内、雨天時の開催有無の確認手段につき従来の電話確認と併用して朝倉川育水フォーラムHP、そしてFacebookを活用しての新たな連絡手段も取り入れ、当日も開催中にタイムリーにFacebook上でメンテナンス状況を報告させて頂きました。これからもより多くの活動を知って頂き、多くの参加者と共に植樹メンテナンス大会を盛り上げていきますので、今後ともよろしくお願ひします。



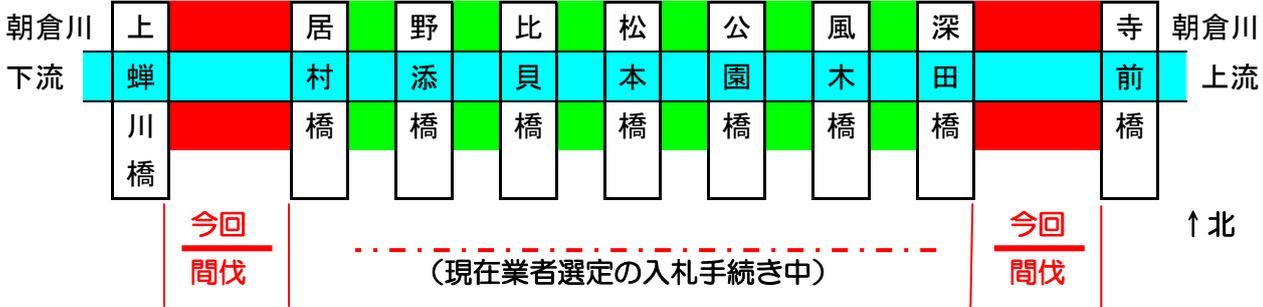
景観に配慮した間伐の試験施工を実施します

東三河建設事務所 維持管理課

朝倉川水辺の緑の回廊事業から早 15 年が経過し、市民の「530 大会」・「メンテナンス大会」等ボランティア活動に支えられ朝倉川の環境整備が進み、全国的にも模範となる河川となってきていることに感謝します。

5 年ほど前に大胆な間伐事業を行い、対岸が見渡せる程度の環境としましたが、樹木の生長により、さらなる間伐が必要な状態になってきました。

前回の間伐の経験から今回は、将来の樹形や景観を配慮した間伐を試験的に施工し平成 25 年度からの間伐事業の参考にしたいと考えています。



経緯

- 平成 10 年～14 年 水辺の緑の回廊事業で 49,000 本の苗木を植樹
- 平成 15 年～ 朝倉川育水フォーラムの呼びかけによるメンテナンス大会が開催される
- 平成 19 年～20 年 県の大規模な間伐事業により 7,136 本になる
- 平成 24 年 (今回) 県工事による景観を配慮した間伐の試験施工

朝倉川の魚道整備

副理事長 高須 博久

朝倉川は全長 8.6km です。大きな川と違い、大雨が降ると一気に流れが速くなり、滝のようになります。この急な流れを緩やかにするために、20 数ヶ所の落差工、帯工が施されています。最大落差は 2.5m あります。小さな生き物は一度下流に流されてしまうと、大きな落差を登れません。元の生息域に戻ることができなくなります。上流と下流では水質も違い、生きることができなくなります。そこで魚道を作り、魚やその他の生き物が上流に溯上できるようにしてやること



<落差工>

が必要となります。すでに朝倉川には数ヶ所の魚道ができています。落差工に魚道を作ることによって生物の多様性が確保できるようになります。いろいろな形式の魚道がありますが、今後はより自然環境に近づける工夫もしながら魚道工事をするように要請していきたいと考えています。



現在、行われています「朝倉川植樹メンテナンス大会」は、平成 10 年からスタートした「水辺の緑の回廊」をもとに行っている事業です。この「水辺の緑の回廊」事業は、現在、東日本大震災の復興



第1回植樹大会

についても震災がれきを活用した「森の防波堤」事業を推奨している事で知られています横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏の発案のもと、朝倉川の両岸への約 4 万 4 千本の植樹からスタートしました。

その後「植樹メンテナンス大会」として樹木の手入れを 10 年間継続してきましたが、治水や地域の安全・安心の観点から専門の事業者でないボランティアの方々では解決しきれない問題もあり、長年にわたり、地元自治会や河川管理者である愛知県などと色々な議論をしてまいりました。

自然環境に関する問題解決手法は、相手が自然という事もあり絶対的に正しい解決方法というものなかなか難しいというのが現状ですが、管理者である愛知県のご理解により、具体的なモデル地域を設定しながら強度の間伐や高木の護岸や住環境に与える影響を考えた手入れなどを、今年からスタートする事になりました。

このモデル地域を礎に、地域の方々をはじめ、河川にかかわるいろいろな方々と一緒に「地域と共生できる、より良い朝倉川」をつくっていきかけになることを期待しています。

メンテナンス大会→



東田小学校 4 年生

環境学習フチアドベンチャー

11 月 15 日に東田小学校の四年生が、環境学習で育水フォーラムのピオトープと多米の里山に来てくれました。ピオトープでは生き物の多様性の大切さやホタルの生態について学び、里山では不動滝で水質調査や自然観察をしたあと広場まで移動し森林保全についての話を聞きました。里山からピオトープに戻る時には、来る時も通った林道とちょっと大変な遊歩道とのどちらがいいか子供たちに選んでもらいました。

期待通り遊歩道を選ぶ子が圧倒的に多く、最近手を入れていないのでどこが道かわからなくなっている林内を歩いたり、以前かけた橋が傷んで使えないところは沢をまたいで超えたり、ドロドロの湿地に渡してある丸太を落ちないように必死に渡ったりして、プチアドベンチャーを楽しみながら戻ってきました。

この体験が子供たちの環境意識の向上に少しでも寄与してもらえればうれしいですね。



ビオトープの変身？

ビオトープの西側(入って右手側)にあった機具庫や作業小屋ですが、地主の加藤さんのご協力をいただき、一部を残して解体させていただきました。入ってすぐのところが大きく広がり、これまで陰にかくれて途中から見えなくなっていた朝倉川の本流もわかるようになりました。実は見えないところで大きくくねっていたんです！

そのほか今回の解体では、作業小屋の後ろにはコンクリート製の大きな浄化槽があったり、地面の下を通過して水が引かれた貯水槽があって、鯉が棲んでいたという発見もありました。浄化槽は解体しましたが、貯水槽はそのまま鯉と一緒に残し東ライオンズさんからのご寄付による手漕ぎポンプを設置し、手洗い場を作りました。今のところは「車を停めるところが増えて便利になったなあ」くらいですが、今後は植樹などを行って整備を進めながら広がった部分の活用方法についても検討していきたいと思います。まだご覧になっていない方は是非ビオトープに足を運んでもらい

を残して解体させていただきました。入ってすぐのところが大きく広がり、これまで陰にかくれて途中から見えなくなっていた朝倉川の本流もわかるようになりました。実は見えないところで大きくくねっていたんです！



<ご寄贈いただいた井戸>

ご意見などもいただければ幸いです。

*** これからの予定 ***

1月13日(日) 河川調査

1月5日(土) ビオトープ作業

以降: 2月2日

3月2日



林正司さんに随時ビオトープの清掃や整備をしていただいています。いつもありがとうございます。



事務局より...

SNS、facebookのページ

ぜひご覧ください

会費納入のお願い

会費未納の会員様に24年度の会費納入の振込み用紙を同封させていただきました。ご納入をお願い致します。直接事務局までお持ちいただいても結構です。



東ライオンズクラブ様

いつもありがとうございます

12月8日(土) 今年も東ライオンズクラブの皆様
にビオトープの整備作業をしていただきました。



管理棟横の橋の架け替えと
トイレの前に竹垣を作っ
ていただきました。

橋の架け替えは大変な作業
でしたが、ベテランの皆様

の知恵と技で短時間のうちに完成しました。

トイレの周辺の建物がなくなって
トイレがちょっと使いづらくなっ
ていましたので、その前に竹垣を
作っていただきました。



<ご寄贈の井戸贈呈式>



<完成した竹垣>

この井戸水は飲用は
出来ません。

* 2012年ビオトープあれこれ *

ビオトープでは1年間様々な取り組みをしています。
遊びにきてください。お待ちしております!!



<田の草とり>



<稲刈り>



<河川調査: 生き物観察>



<バームクーヘン作り>

* 全てのお申込み・お問い合わせは *

特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1

TEL 0532-53-7211

FAX 0532-53-7210

URL <http://www.asakuragawa.net>

E-mail hotaru@asakuragawa.net